



## 製品安全データシート

対象成分 りん酸

## 1. 製品等及び会社情報

製品名称 CBB Rapid Stain  
 製品コード BCL-CBR-01, BCL-CBR-02  
 該当成分 りん酸  
 製品中の当該成分含量 10%以下  
 推奨用途及び使用上の制限 電気泳動後のタンパク質の染色  
 会社名 株式会社ビークル  
 住所 京都市左京区吉田河原町14-1  
 電話番号 075-762-5055  
 緊急時の電話番号 075-762-5055  
 FAX番号 075-762-3055  
 メールアドレス technical-support@beacle.com

(下記のデータは特に断らない限り、該当成分が85%とした場合のデータを示しております)

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	—
	可燃性・引火性ガス	—
	可燃性・引火性エアゾール	—
	支燃性・酸化性ガス類	—
	高压ガス	—
	引火性液体	—
	可燃性固体	—
	自己反応性化学品	—
	自然発火性液体	—
	自然発火性固体	—
	自己発熱性化学品	—
	水反応可燃性化学品	—
	酸化性液体	—
	酸化性固体	—
	有機過酸化物	—
健康に対する有害性	金属腐食性物質	—
	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分5
	急性毒性(吸入:ガス)	—
	急性毒性(吸入:蒸気)	—
	急性毒性(吸入:粉じん/ミスト)	—
	皮膚腐食性・刺激性	区分1A-1C
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	—
	皮膚感作性	—
	生殖細胞変異原性	—
	発がん性	—
	生殖毒性	—
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	—
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	—
	水生環境急性有害性	—
	水生環境慢性有害性	—
ラベル要素	—	—

## 絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

飲み込むと有害  
 皮膚に接触すると有害のおそれ  
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
 重篤な眼の損傷  
 呼吸器刺激を起こすおそれ

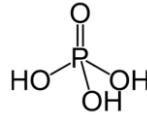
## 他の有害性情報

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。  
 保護手袋／衣類および保護眼鏡／保護面を着用すること。取扱い後はよく洗うこと。  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
 粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

### 3. 組成及び成分情報

製品への添加量	製品に含まれる含有量は10%以下
単一製品／混合物の区別	混合物(水溶液)
化学名又は一般名	酢酸水溶液
別名	phosphoric acid
成分	りん酸
含有量	10%以下
分子式(分子量)	H3PO4(98.00)

化学特性(示性式又は構造式)



CAS番号:  
官報公示整理番号(化審法)  
分類に寄与する不純物及び安定  
化添加物  
濃度又は濃度範囲

7664-38-2  
化審法: (1)-422  
-  
-

### 4. 応急措置

一般的な初期対応	[緊急時応急措置指針] 被災者を新鮮な空気のある場所に移す。救急車を呼ぶ。 呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。 被災者が(有害)物質を飲み込んだり、吸入したときは口対口法を用いてはいけなく、逆流防止のバルブがついたポケットマスクや他の適当な医療用呼吸器を用いて人工呼吸を行う。 呼吸困難の時は酸素吸入を行う。 汚染された衣服や靴を脱がせ、別の場所におく。 漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低15分間洗浄する。 被災者を温め、安静にする。 医師に曝露物質名、防護のための注意を通知する。 事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける(できればラベルを見せる)。
吸入した場合	吸入による事故の場合は負傷者を新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。 呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類をゆるめ呼吸道を確認した上で人工呼吸を行う。
皮膚に付着した場合	[緊急時応急措置指針] 皮膚への接触を最小限とするため、付着物を拡散させないようにする。 汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。 皮膚に触れたら、直ちに多量の水と、石鹸で洗う。
目に入った場合	最低15分間、清浄な水でゆるやかに眼の洗浄を行う。できるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受け、医師にその容器又はラベルを見せる。 コップ1-2杯の牛乳又は水を与えて胃内で薄める。吐き出させてはならない。
応急処置をするヒトのための予防措置	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

### 5. 火災時の措置

消火剤	[緊急時応急措置指針] 小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素または散水を用いる。 大火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤あるいは散水を用いる。; 危険でなければ、容器を火災区域から移動する。; 消火水をせき止め、後で廃棄する - 物質を拡散させてはいけなく。 容器内に水を入れてはいけなく。; 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
使ってはならない消火剤	特になし。
特有の危険有害性	[緊急時応急措置指針] 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 消火水や希釈水は有毒及び/又は腐食性があり汚染を引き起こすおそれがある。 燃焼の際に生成する有毒な煙、蒸気またはガス :リン酸化物
特有の消火方法	不燃性であるが、周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は、風上から行う。初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。
消火を行う者の保護	適切な防護服を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	適切な保護衣を着用していないときは破損した容器や漏洩物に触れてはいけなく。 関係者以外の立ち入りを禁止する。適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏出した製品が、河川などに排出され、環境へ影響を起さぬよう注意する。
除去方法	少量の場合、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
封じ込め及び浄化方法・機材 二次災害防止策	危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。 関係者以外は近づけなく。 風上に留まる。 低地から離れる。 密閉された場所に入る前に換気する。 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 容器内に水を入れなく。

<b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>	
<b>取扱い</b>	
技術的対策 局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気装置、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	皮膚との接触を避ける。 接触や吸入の効果は遅れて現れるおそれがある。 密閉された装置、機械、又は局所排気装置を使用する。取り扱いは、換気のよい場所で行う。 容器に過度の衝撃を加える、転倒させる、落下させる、又は引きずるなどの粗暴な扱いをしない。
<b>保管</b>	
技術的対策 混触危険物質 保管条件 容器包装材料	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管すること。 ガラス等
<b>8. ばく露防止及び保護措置</b>	
管理濃度	未設定
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露 ACGIH 日本産衛学会)	TWA 1 mg/m <sup>3</sup> , STEL 3 mg/m <sup>3</sup> 1 mg/m <sup>3</sup>
設備対策	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
<b>保護具</b>	
呼吸器の保護具	空気呼吸器(SCBA)を着用する。酸性ガス用防毒マスク
手の保護具	適切な不浸透性の保護手袋(ゴム製など)を着用すること。
眼の保護具	保護眼鏡または安全ゴーグルを使用する。
皮膚及び身体の保護具	状況に応じて、ゴム製の前掛け、長靴、保護衣などの不浸透性の保護具を接触を避けるために着用する。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
<b>9. 物理的及び化学的性質</b>	
<b>物理的状態</b>	
形状	液体
色	無色
臭い	無臭
pH	強酸性
融点	-10°C
凝固点	—
沸点、初留点及び沸騰範囲	158°C
引火点	不燃性
自然発火温度	—
燃焼性(固体、ガス)	—
爆発範囲	—
蒸気圧	4 Pa (20°C)
蒸気密度 (Air=1)	—
蒸発速度	—
比重(密度)	約 1.69 g/ml
溶解度	水に対する溶解性； 溶けやすい 溶媒に対する溶解性； エタノールに溶けやすい
オクタノール・水分配係数	—
分解温度	—
粘度	—
粉じん爆発下限濃度	—
最小発火エネルギー	—
体積抵抗率(導電率)	—
その他	粘性がある。
<b>10. 安定性及び反応性</b>	
<b>安定性</b>	予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と考えられる。
危険有害反応可能性	アルカリ物質と接触すると反応する。
避けるべき条件	日光、熱、混触危険物質との接触
混触危険物質：	アルカリ物質
危険有害な分解生成物	りん酸化物
<b>11. 有害性情報</b>	
<b>急性毒性</b>	
経口	ラット LD50 1530 mg/kg
経皮	ウサギ LD50 2740 mg/kg
吸入	—
皮膚腐食性・刺激性	—
眼に対する重篤な損傷・刺激性	腐食性を示す。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器刺激を起こすおそれ。
発がん性	—
生殖毒性	—
生殖細胞変異原性	—
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	—
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	—
吸引性呼吸器有害性	—
アレルギー及び感受性	—
慢性毒性	—
催奇形性	—

12. 環境影響情報	水生環境急性有害性 — 水生環境慢性有害性 — Biotransportability — 残留性／分解性 — 生体内蓄積性 — 生体毒性 — 魚毒性 —
13. 廃棄上の注意	<b>残余廃棄物</b> 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。 <b>汚染容器及び包装</b> 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。
14. 輸送上の注意	<b>国内規制</b> <b>陸上規制情報</b> 特に規制なし  <b>海上規制情報</b> IMOの規定に従う。 国連番号：1805 国連品名：リン酸 分類／区分：8 容器等級：III 海洋汚染物質：非該当  <b>航空規制情報</b> CAO/IATAの規定に従う。 国連番号：1805 国連品名：リン酸 分類／区分：8 容器等級：III  <b>国際規制</b> <b>海上規制情報</b> IMOの規定に従う。 UNNo. 1805 Proper shipping name PHOSPHORIC ACID, SOLUTION UN CLASS 8 <b>航空規制情報</b> ICAO/IATAの規定に従う。 UNNo. 1805 Proper shipping name Phosphoric acid, solution UN CLASS 8 <b>緊急時応急措置指針番号</b> 非該当 <b>輸送の特定の安全対策及び条件</b> 運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に進行。
15. 適用法令	<b>消防法</b> 非該当 <b>毒物及び劇物取締法</b> 非該当 <b>労働安全衛生法</b> 法第57条の2(令第18条の2)名称等を通知すべき危険物質及び有害物(政令第98号) <b>海洋汚染防止法</b> 有害液体物質、Z類物質(施行令別表第1) <b>化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)</b> 非該当 <b>船舶安全法</b> 危険物船舶運送及び貯蔵規則第3条危険物告示別表第1腐食性物質 <b>航空法</b> 法第86条施行規則第194条危険物腐食性物質
16. その他の情報	参考文献 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 13th edit. UN <a href="http://europa.eu.int/eur-lex/en/(2004/73/EC)">http://europa.eu.int/eur-lex/en/(2004/73/EC)</a> 2004 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT) 2007 TLVs and BEIs. (ACGIH) <a href="http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html">http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html</a> 化学物質等法規制便覧改訂第4版(2004) 化学物質等法規制便覧編集委員会編 国際化学物質安全性カード(ICSC) MERCK INDEX TWELFTH EDITION 15107の化学商品 化学工業日報社(2007) 化学大辞典 共立出版社(1964) 緊急時応急措置指針[改訂第2版](2006) <a href="http://www.cdc.gov/niosh/homepage.html">http://www.cdc.gov/niosh/homepage.html</a> (NIOSH) The Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) <a href="http://www.safe.nite.go.jp/">http://www.safe.nite.go.jp/</a> (独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合検索システム) 化学品総合データベース(2007) 日本ケミカルデータベース(株) GHS分類結果 (NITE)
本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを想定して記載されています。表示した内容は新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。	